

令和2年度第6回（第34回）魚沼市地域公共交通協議会 議事要旨

日 時	令和3年2月22日（月）13:30～15:10
場 所	魚沼市役所 本庁舎 303 会議室
出席委員	19名（うち代理出席2名） ※別紙、出欠名簿のとおり
欠席委員	6名
事務局	6名
オブザーバー	2名
傍聴者	0名
会議次第	1. 開 会 2. 開会あいさつ 3. 議 事 1) 魚沼市地域公共交通計画（案）について 2) 令和3年度魚沼市乗合タクシー等のダイヤ改正・運行計画（案）について 3) 令和3年度協議会事業計画及び予算（案）について 4) その他 4. その他 5. 閉 会
会議結果	承認
会議概要	下記のとおり（要点記録）

1. 開 会

○事務局

2. 開会あいさつ（内田会長）

3. 議 事

1) 魚沼市地域公共交通計画（案）について

【(資料No.1) 魚沼市地域公共交通計画（案）について説明（事務局）】

【質疑、意見等】

○宮腰副会長（長岡工業高等専門学校）

- ・令和3年度からの計画としてうまくまとまったと思う。
- ・これから事業計画等をどう運用していくかが課題となってくると思うのでよろしくお願ひしたい。

○内田会長（魚沼市長）

- ・ほかに質疑等が無いようでありますので、「魚沼市地域公共交通計画（案）」について、成案として決議することでご異議ございませんか。

【採択】承認

2) 令和3年度魚沼市乗合タクシー等のダイヤ改正・運行計画(案)について

【(資料No.2) 魚沼市乗合タクシーネットワーク路線図について説明(事務局)】

【(資料No.2-2) 令和3年4月1日改定 魚沼市乗合タクシー時刻表について説明(事務局)】

【(資料No.3) 入広瀬コミュニティバスの運行計画についてについて説明(事務局)】

【質疑、意見等】

○波方委員(堀之内連合区長会)

・各区長4名の連名で、乗合タクシーの時間をもう少し遅くしてほしい、休日の運行をしてほしいと要望を出した結果、実証運行という形になったので、区民の皆さんにPRをし、本格運行に向けて運行率を高めていきたいと思う。

○青山委員(広神連合自治会長)

・今ほどお話しがあったように、「乗合タクシーの便数が少ない」、「朝の1便は時間が早すぎるため店舗の開店まで長時間待たなければならない」、「帰りはいい時間帯の便がない」という課題があったため地域要望をあげさせてもらった。こうして、実証運行として運行されるということでありがたいと感じている。

・本格運行に向けて、住民に対して地域で積極的にPRしていきたいと考えている。

・実証運行について、住民周知をいつ頃やるのか、要望した人に対してこの説明をしてもいいのか。

○事務局

・協議会で承認されれば、説明してもよい。

・周知について、10月1日の運行開始前の然るべき時期に市報やチラシなどで周知を図りたいと考えている。

○内田会長(魚沼市長)

・ほかに質疑等が無いようでありますので、「令和3年度魚沼市乗合タクシー等のダイヤ改正・運行計画(案)」について、承認することでご異議ございませんか。

【採択】承認

3) 令和3年度協議会事業計画及び予算(案)について

【(資料No.4) 令和3年度事業計画(案)について説明(事務局)】

【(資料No.4-1) 令和3年度協議会予算書(案)について説明(事務局)】

【質疑、意見等】

○宮腰副会長(長岡工業高等専門学校)

・地域公共交通活用ガイドブックについて、どういうイメージなのかわからないが、乗り継ぎを含めた利用案内、例えば小出のまちなかにどうすれば簡単に行けて帰れるのかといった内容にしてほしい。

・時刻表等の折込であるが、これは新聞に折り込むものか。

○事務局

・活用ガイドブックの冊子について、その通りである。計画策定をする協議の場で、名

前や運行していることを知っているだけではなく、目的地までどのように乗り継いでいけばいいのか分からなければ、認知度向上とは言えないという議論があり、目的地までの乗り継ぎなどがわかる内容にしたいと考えている。また、運転免許返納者に対し、積極的にPR・配布をしていきたいと思う。

・乗合タクシー時刻表の折込について、市報の折込となる。シルバー人材センターへの委託料として計上している。

○内田会長（魚沼市長）

・ほかに質疑等が無いようでありますので、令和3年度協議会事業計画及び予算（案）について、承認することをご異議ございませんか。

【採択】承認

4) その他

○塩入委員（南越後観光バス）

・当社の現状や問題点等のお話をさせていただいて、ご理解をいただきたいと思う。計画書の中には路線バスの役割、目指す公共交通の姿として見直しを図っていくと言う説明があった。その様に見直しを図りながら何とか生き残っていききたいと考えている。

・路線バスである3つの国庫補助路線について、どの路線も利用頻度が悪い。平均乗車密度が5人を下回ると補助金が出なくなる中で、これまで貸切バスの収入を定期路線バスに回して何とか運行してきたが、新型コロナウイルスの影響で大変な状況となっている。国の第3次補正予算により、補助金上乘せのお話を頂いているがわずかである。

・この3路線については、数百万円の赤字となっており、補助金がもらえない状況である。赤字の約半分が、栃尾又線である。これについては、路線の見直し等を事務局などと知恵を出しあって生き残ろうとしているが、うまくいかないのが実情である。補助金に頼りたくないが、現状は頼らざるを得ないため、理解をお願いしたい。

・新しい取り組みについては、見直しの中で提案していきたいと考えている。

○事務局

・地域間幹線ということで魚沼市だけでは前に進まないため、関係市や事業者と連絡を密にしながら進めていきたい。

○小島委員（魚沼市タクシー協会）

・南越後さんの路線バスとも関連するが、小出タクシーが湯之谷地域のデマンド交通を担っており、小出市街地から葎沢まで運行している。大湯まで行かないのは、定期路線バスが運行されており、そこでは路線バスとデマンドが重複して運行できない点があり、路線バスの運行便数がある程度あるため、湯之谷地域はデマンドの本数が少なくなっている。

・住民からは、バス停まで歩いていけない、芋川や宇津野等、なぜ自分の地区にはデマンドがないのかといった声が増えてきている。高齢化が進行し、バス停まで行けない人がいることを踏まえて、大湯までの運行が実現できるよう事務局で検討してもらいたい。

○事務局

- ・その点については承知している。継続して検討したいと思う。

○小島委員（魚沼市タクシー協会）

- ・運輸支局に対して重ねて申し上げるが、魚沼市の交通空白地帯（入広瀬）は、旅客業者が作ったものではない。コミュニティバスを運行するために魚沼市の要請で作られたものである。
- ・入広瀬における自家用有償旅客運送開始の条件として、かつて運行していたデマンドの運行経費よりも半額以下でコミュニティバスが運行できる、コミュニティバスは入広瀬地域の運行に限定すると言うことが前提だった。ほかのコミュニティ協議会で同じようにコミュニティバスが運行されるようになれば、交通事業者にとって死活問題となるため、入広瀬地域に限って、経費が削減できるということであれば事業者は協力するというので、入広瀬コミュニティバスの運行が始まったということをご承知おきいただきたい。
- ・入広瀬コミュニティバスの決算報告によると、デマンドの運行と同等の経費が今かかっている。これは当初の約束と違うので、改善を強く要望する。

○事務局

- ・自家用旅客有償運送については、他地域での計画はなく、新たに増やすという動きもない。
- ・入広瀬コミュニティバスの運行経費については、経費がかからないよう関係部署と検討して行きたい。

○内田会長（魚沼市長）

- ・それでは、特になければ、以上のとおり終了してよろしいでしょうか。
(異議なし)
- ・議事の進行につきまして、ご協力いただきましたことに感謝を申し上げ、進行を事務局に戻させていただきます。

4. その他

○事務局

- ・公共交通計画は本日成案となった。これに基づいて計画策定に向けた準備を進める。また、国交省への計画認定申請を提出予定。
- ・計画書については、印刷製本をして配布する。
- ・次回の協議会は、6月28日を予定している。
- ・協議会委員の異動連絡票を用意したので、異動があった際はFAXまたはメールでお知らせ願いたい。

5. 閉 会

閉会あいさつ（宮腰副会長）

【別紙】

令和2年度第6回(第34回) 魚沼市地域公共交通協議会 出欠名簿

(敬称略)

No.	所 属 等	氏 名	代理出席等	備考
1	魚沼市長	内 田 幹 夫	○	会 長
2	東日本旅客鉄道株式会社 浦佐駅長	山 田 真 紀	○	
3	南越後観光バス株式会社	関 正 太	代理：塩入 誠司	
4	魚沼市タクシー協会 会長	小 島 由紀子	○	
5	ひかり交通株式会社 代表取締役	渡 辺 恵 介	代理：山本 学	
6	入広瀬コミュニティ協議会 会長	梶 沢 一 彦	○	
7	国土交通省北陸地方整備局 長岡国道事務所 計画課 課長	長 谷 川 孝 志	欠	
8	新潟県魚沼地域振興局地域整備部 副部長	宮 嶋 孝 吉	○	
9	魚沼市産業経済部 副部長	星 政 晴	○	監査員
10	新潟県小出警察署 署長	松 川 寛 治	欠	
11	堀之内連合区長会 会長	波 方 稔	○	監査員
12	小出四日町区連合自治会 会長	磯 部 三 千 夫	○	
13	湯之谷地区自治会連絡協議会 会長	内 田 一	○	
14	広神連合自治会 会長	青 山 春 彦	○	
15	守門地区嘱託員会 会長	佐 藤 健	○	
16	入広瀬区長会 代表	浅 井 作 松	欠	
17	長岡工業高等専門学校 環境都市工学科 教授	宮 腰 和 弘	○	副会長
18	国土交通省北陸信越運輸局交通政策部 交通企画課 課長	佐々木 凜太郎	欠	
19	国土交通省北陸信越運輸局新潟運輸支局 首席運輸企 画専門官	大 田 尊 博	○	
20	新潟県魚沼地域振興局企画振興部 地域振興課 課長	貝 瀬 明	○	
21	新潟県立小出高等学校 校長	梶 良 成	欠	
22	魚沼市老人クラブ連合会 会長	佐 藤 喜 郎	○	
23	魚沼市地域自立支援協議会 会長	井 口 正 博	○	
24	日本労働組合総連合会新潟県連合会 中越地域協議会 議長	矢 島 良 彦	欠	
25	魚沼市市民福祉部介護福祉課 課長	戸 田 千 穂 子	○	
26	魚沼市北部事務所 所長	佐 藤 正	○	コミュニティ バス
27	” 地域づくり係 係長	小 西 昌 明	○	”
28	魚沼市市民福祉部 部長	桑 原 昇	○	
29	魚沼市市民福祉部生活環境課 課長	山 内 勝	○	事務局長
30	” 交通対策係 係長	関 祐 樹	○	事務局
31	” 主任	井 口 貴 行	○	”

職 名 等		氏 名
エヌシーイー株式会社 地域マネジメント部 計画グループ	次長	佐 藤 雅 志
エヌシーイー株式会社 地域マネジメント部 計画グループ		長谷川 圭輔